

TAMA拠点形成プロジェクト 進捗状況(令和8年3月30日時点)

八王子

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
中心市街地のまちづくり	「八王子市中心市街地まちづくり方針(市街地総合再生基本計画)」の更新を視野に、ハード・ソフト両面で官民連携したにぎわいのまちづくりを引き続き推進する。	市		時機を捉えた改定に向けた検討			継続実施
駐車場地域ルール策定の策定	駐車場地域ルールの運用などにより民間の建築需要を喚起し、まちの防災性の向上とウォーカーフレンドなまちの実現を図る。	市		策定	運用		継続実施
旭町・明神町地区周辺のまちづくり	「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」に掲げるにぎわい・憩い・交流のまちの実現に向け、東京都立多摩産業交流センター(東京たま未来メッセ)と連携し、都、URから技術的支援を受けながら、一体となったまちづくりの推進を図る。	市		旭町・明神町地区周辺のまちづくり(事業化検討・関係者協議等)			継続実施
まちなか魅力づくり支援補助金	中心市街地内で実施される、ベンチ設置・コミュニティ施設整備・良好な景観形成などの公共性・公益性が高い取組や、屋外イベント・飲食店を回遊するイベントなどのにぎわいに資する取組を「魅力づくり事業」とし、その経費の一部を補助する。	市		事業実施		未定	未定
中心市街地魅力ある個店リノベーション補助金	中心市街地にある空き店舗などを活用して新規出店し、活性化・にぎわいの創出に寄与する取組を行う事業に、店舗の改修にかかる経費の一部を補助する。	市		事業実施		未定	未定
八王子駅周辺歩行者ネットワークの整備	八王子駅周辺において、5路線で無電柱化事業を進めている。	市		無電柱化事業の推進			継続実施
重点地区における良好な景観形成の推進	景観計画に定める重点地区である中心市街地環境整備地区及び甲州街道沿道地区における景観形成施策を推進するため、景観に関する意識の啓発、景観条例に基づく届出・協議による誘導、先導的な役割を担う公共施設整備を行う。	市		継続			景観計画期間(未設定)
西八王子駅周辺地区のまちづくり	「西八王子駅周辺地区まちづくり方針(令和7年3月策定)」を踏まえ、駅周辺地区にふさわしい土地利用の誘導を図るとともに、地域住民や事業者等におけるまちづくり活動を支援する。	市		活動支援			継続実施
多摩都市モルルール八王子ルート整備促進	八王子ルートの早期整備の実現に向けて、新たな土地利用を図るなど、需要を高める沿線まちづくりを進めるとともに、有識者による検討会議を立ち上げ、事業性を高めるルート検討など、課題解決に向けて戦略的な検討を進める。市民の機運醸成に向けて、車両基地見学会の開催等の啓発イベントを実施する。	市		啓発活動・要望行動・東京都との協議 ルート検討 沿線まちづくり検討		未定	継続実施 未定
シェアサイクル事業	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完・環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	民間 市		本格実施 ビッグデータの活用検討			継続実施 継続実施
八王子駅南口集いの拠点整備	八王子医療刑務所移転後の用地の活用として、市では『学びと交流が次の100年をつくる「まちの開いた新たな集いの拠点」となるよう、「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」「交流スペース」を備えた複合機能施設(愛称:桑都の杜)を整備する。	市	建設工事・機運醸成	～9月開館準備 10月～開館予定			指定管理者による事業の推進 継続実施(指定管理期間は令和8年10月から令和23年9月までの予定)

立川

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
立川駅周辺地域の将来像とその実現に向けた検討	中核的な拠点としての機能の維持向上を図るため、地域と連携しながら立川駅周辺地域の将来像とその実現に向けた検討を進める。	市・民間	調査・検討	庁外検討の開始	策定支援業務委託 (仮称)立川駅周辺の未来ビジョン公表 関連する個別計画等の検討		継続実施
立川駅北口東側地区のまちづくり	基盤整備による高度利用地区の促進や都市計画制度を活用したよりきめ細やかな土地利用の誘導により、土地の合理的で健全な高度利用や都市機能の更新を図る。	市	調査・検討	庁外検討の開始	策定支援業務委託 (仮称)立川駅周辺の未来ビジョン公表 関連する個別計画等の検討		継続実施
エリアマネジメントの推進	立川駅周辺地域の課題解決や魅力あるまちづくりに向けて、まちづくり協議会や商店街、有志企業で構成する任意団体が組織されており、行政と連携しながら、地域が一体となった取組を進める。	市・民間		連携・実施			未定
サンサンロードの活用	様々なイベント開催等の活用を進め、中心市街地の魅力やイメージの向上を目指すとともに、周辺の商業・業務施設との連携により集客力の維持・向上を目指す。	市・民間		イベント等に活用			継続実施
立川市ファール立川アートの活用	立川駅周辺にあるスポーツやグルメ、文化、芸術、ショッピングなどについてそれぞれの魅力をつなぎ合わせることで再来訪の促進及び回遊性の創出につなげる	市		イベント等に活用			継続実施
中央南北線(立川3・1・34号線)等の整備	立川広域防災基地へのアクセスルートとなる中央南北線(立川3・1・34号線)等の事業を推進する。	都		検討中			継続実施
立川東大和線(立川3・3・30号線ほか)の整備	立川広域防災基地へのアクセスルートとなる立川東大和線(立川3・3・30号線ほか)の事業を推進する。	都		事業中・検討			継続実施
立川市シェアサイクル事業	立川市と民間事業者との連携及び相互協力により、シェアサイクル事業を継続して実施するなど市民や来訪者が移動しやすいまちづくりを進める。	市・民間		シェアサイクル事業の継続実施			令和11年度

多摩ニュータウン(多摩センター)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
多摩センター地区の賑わいづくり	多摩センターに立地する企業を中心とした活性化認定団体である多摩センター地区連絡協議会と多摩中央公園の指定管理者であるTAMAセントラルパークJVが四季折々のイベントを連携しながら実施し、にぎわいづくりに取り組んでいる。	民間		四季折々のイベントを実施	駅からバルテノン大通り、中央公園等のエリア全体が活性化する取り組みの実施		継続実施・検討
ハローキティにあえる街 多摩センター	平成14年度からハローキティを活用した「ハローキティにあえる街」を多摩センター立地企業等と協力・協働し活性化に取り組む。多摩センター駅周辺では、サンリオキャラクターによるさまざまなイベントを開催している。	民間		都府開催	立地企業と協力・連携したサンリオキャラクターを活用したイベントによる誘客・知名度向上の取り組みを実施		継続検討
「(仮称)多摩センター地区 まちのビジョン」と地域組織との連携による取組の推進	多摩センター地区のまちのニーズと、行政、企業の課題がマッチングしたテーマを基軸とし、作成を予定している「(仮称)多摩センター地区 まちのビジョン」を基に、地域で活動する組織と連携してシビックプライドを醸成するとともに具体的な整備内容等を検討し、実現に向けた取組を推進する。	市		事業内容検討中 計画等作成	官民連携による一体的な賑わい形成、滞在・憩い空間を創出する社会実験の実施		継続実施・検討

多摩センター駅(南・北・西側地区)周辺の施設立地の推進	機能集積が進んでいるが、引き続き未利用地の活用を促進する。	都・市・UR		検討		継続実施
多摩中央公園改修整備工事・運営事業	公募設置管理制度(Park-PF制度)を活用し、改修にあわせ整備された民間施設により都市公園の質の向上や利用者の利便性の向上を図る。また、多摩中央公園及び公園内・周辺施設を核に、市民・団体、企業等が連携し、そのにぎわいの波及により、多摩センター地区の魅力を上出し、にぎわいの面的拡がりを推進する。	市・民間	公園運営事業		四半期毎の連携協議会開催による情報交換と公園内施設の連携及び公園外へのしみ出しを目指した賑わいの創出及び取組を実施	継続実施 (令和6年度工事完了)
都市再生整備計画事業	平成29年度からコンパクトな都市構造への再編を目指す多摩ニュータウンの広域拠点・駅拠点にふさわしい魅力とにぎわいあふれる街づくりを目標とし実施している。令和4年度からは官民一体となつたにぎわいのある歩行者空間、滞留空間の創出、維持・活用を行うオープンカフェ事業を実施し、令和7年度からは滞在環境の創出に向け「まちなかウォーカーブル推進事業」を実施する。	市		(第3期)令和7年度～令和9年度	(第4期)令和10年度～令和14年度	継続実施 (第2期 令和4年度～令和6年度完了)

多摩ニュータウン(永山)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
諏訪・永山地区のまちづくり	現在、平成30年2月市策定の「多摩ニュータウン リ・デザイン諏訪・永山まちづくり計画」も踏まえながら、都営住宅・UR賃貸住宅の建替事業が進行している。同計画の永山駅周辺拠点の再構築プロジェクトに基づく勉強会を開催し、駅周辺地権者とともに再構築の方針・将来像を検討する。また、令和4年度に東京都が「諏訪・永山再生プロジェクト検討会議」を立ち上げ、都と市が事務局を担い永山駅周辺の再構築の検討を推進する。	都・市・地権者		地域街づくり計画の検討			継続実施
3者(京王電鉄株式会社・UR都市機構・多摩市)連携を中心とした定住促進・魅力発信事業	たまNEWプロジェクト(京王電鉄株式会社・UR都市機構・多摩市の3者連携)では、MUJI×URのモデルルーム見学などの住環境見学ツアーや、地域の魅力を再発見するフォトコンテスト、小学生を対象とした夏休みの居場所提供などを行ってきた。これまでの結果も踏まえ、定住促進を見据え、多摩ニュータウンの魅力発信や子育て世帯の来街につながる企画等を推進する。	民間		魅力発信、イベント等			継続実施
住みたくなる街多摩ニュータウン運営(京王電鉄株式会社・UR都市機構・八王子市・多摩市・稲城市)	八王子市、多摩市、稲城市、町田市にまたがる多摩ニュータウンについて、共通のテーマで5者それぞれの視点から、各エリアの持つ特徴や魅力を京王沿線口コミ情報サイト「街はび」を通して発信する。	民間					令和6年度事業終了
住宅市街地総合整備事業	既存市街地において、快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい市街地景観の形成等を図るため、住宅等の整備、公共施設の整備等を総合的に行う事業である。諏訪・永山地区について平成23年度から実施している。	民間・都・市		事業実施			継続実施
地域協創	第六次多摩市総合計画基本理念の「多摩市らしい地域共生社会の実現」として多世代の参画、多分野の協働による誰もがつながりあえるコミュニティを形成することで、地域課題解決や地域価値創造を目指す取組であり、令和2年度から諏訪中エリア等でモデル事業を実施している。	市		検討・実践			継続実施

多摩ニュータウン(南大沢)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
地域づくり推進会議による取組	「南大沢に関わるすべての人が安心して過ごすことができる、アットホームなまちにしたい」「豊かな緑やスマートシティの取組によって、より良いまちが後世に続いてほしい」という想いを込めた地域の将来ビジョンとして「つつつながる」を掲げ、その実現に向けて「地域ぐるみの体制づくり」や「みんながつながる機会・場づくり」などにつながる取組を、活動団体である「Joynみなみおおさわ」を立ち上げ進めている。	市		「地域づくり推進計画」に基づく取組		検討中	継続実施
元気な街南大沢協力の会 運営支援	約40の企業や団体が加盟する会。2003年に発足し、駅周辺活性化のため南大沢駅前を中心にイベントを中心とした様々なエリアマネジメント活動をしている。	市		継続			継続実施
南大沢マルシェの運営支援	「子どもの笑顔と地域住民の笑い声を創ろう」とテーマに南大沢駅前歩道にて地場野菜、全国の産地直送の新鮮野菜やご当地グルメ、八王子の逸品があるイベントを開催している。	市		継続			継続実施
シェアサイクル事業	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	民間		本格実施			継続実施
多摩都市モラル八王子ルート整備促進	八王子ルートの早期整備の実現に向けて、新たな土地利用を図るなど、需要を高める沿線まちづくりを進めるとともに、有識者による検討会議を立ち上げ、事業性を高めるルート検討など、課題解決に向けて戦略的な検討を進める。市民の機運醸成に向けて、車両基地見学会の開催等の啓発イベントを実施する。	市		啓発活動・要望行動・東京都との協議		未定	未定
先端技術を活用したまちづくり	東京都、東京都立大学、八王子市、地元企業及び通信事業者等の連携のもと、「南大沢スマートシティ協議会」を令和2年10月に設立し、先端技術を活用した分野横断型サービスの都市実装を目指す。	都・民間		スマートサービスの実装に向けた取組を継続			継続実施
所有地を活用したまちづくり	南大沢駅北側所有地について、令和5年3月に策定した「南大沢駅周辺地区まちづくり方針」の実現に向け、民間事業者が実施する、にぎわいの維持・発展、スマートシティの取組、地域に根差したエリアマネジメント活動に協力する。	都・民間		●定期借地契約終了・新規契約開始			継続実施
				にぎわいの維持・発展 スマートシティの取組・エリアマネジメント活動			

多摩ニュータウン(若葉台)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
アニメを活用したまちづくり(観光案内マップの作成)	稲城市の魅力を知ってもらうための観光案内マップ「稲城ぶらり散歩」は、市内のみどころやスポットを、散策コースと併せて記載している。	市	-	更新	-	更新	継続実施
産業振興支援(企業誘致・駅前出店時の補助)	企業誘致制度では、立地した企業に奨励金を交付する。市民の雇用促進や、市内業者を利用して事業所建設を行った場合は加算を行う。駅周辺店舗出店補助事業では駅周辺のにぎわい創出を目的とし、駅周辺地域に新規に出店する創業者に出店時の費用の一部を補助する。	市			随時		継続実施
地区計画	地区計画は、地区の特性に応じて計画的により良い市街地環境へ誘導する制度で、若葉台センター地区、若葉台北地区で地区計画区域を定めている。	市			随時		継続実施
若葉台地区の施設立地の促進	定期借地期限満了後の取扱いについて調整する。	市		定期借地期間			令和10年

青梅(青梅、東青梅、河辺)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次	
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
青梅駅前地区市街地再開発事業	青梅駅前地区にて約0.5haの市街地再開発事業(用途:住宅・公益施設・店舗)を実施。平成31年4月の都市計画決定、令和3年4月の再開発組合設立認可を経て、令和5年度に解体工事や建物工事着工、令和7年度末に建物工事竣工を目指している。	民間	工事	建物完成予定	事業終了予定	令和8年度事業終了予定のため、取組予定なし	令和8年度事業終了予定のため、取組予定なし	令和8年度
青梅駅周辺景観まちづくり事業	建築物や工作物などの景観誘導を図るとともに、重要資源などの修理・修景助成を行い、優れた景観づくりを計画的に推進する。	市	景観誘導等を随時実施				継続実施	
商店街活性化支援	青梅駅から東青梅駅にかけての区域には「昭和レトロ」の風情を残す商店街があり、その立地環境や個性・特性を生かしながら商店街が実施するイベント等の取組に対し支援し、来街者の増加やにぎわいの創出につなげる。	市・民間	イベント等の実施及び支援				継続支援	
釜の淵エリア一帯の整備・活用	釜の淵公園を含むエリア一帯について、民間のノウハウを取り入れつつ、にぎわいを創出するための整備・活用を推進する。	市等	R5サウンディング型市場調査の結果をもとに、整備活用に向けた事業の検討				検討結果にもとづいた整備	継続実施
永山公園風の子・太陽の子広場の再整備・活用	青梅の森の拠点、玄関口として一体活用するため、風の子・太陽の子広場を再整備する。	市等	青梅の森と一体活用				継続実施	
青梅の森の保全・活用等	生物多様性を保ち、貴重な野生生物の生息、生育の場として保全し、市民との協働により保全活動を推進。市民が自然とふれあえる場、体験学習できる場等、誰もが気軽に利用できる場として継続的に活用する。	市等	保全活動・活用				継続実施	
東青梅一丁目地内諸事業用地整備事業	東青梅一丁目地内諸事業用地等に文化ホール施設等を整備する。	市等	基本計画策定	設計者選定等		設計	令和16年度	
東青梅駅周辺施設整備事業	東青梅駅舎、自由通路等周辺施設を整備する。	市・民間	基本設計・実施設計に向けた協議				未定	
新病院建設事業	西多摩地域で唯一の救命救急センターを備えた中核病院として、高度急性期医療や不採算医療を担い、地域が必要とする医療を提供しているが、施設の老朽化・狭小化が進んだことから、新病院建設事業を推進する(令和5年本館開院に合わせ、「市立青梅総合医療センター」に名称変更)。	市	渡り廊下棟・西館整備完了	外構・駐車場整備完了			令和11年度末の完了	
歩行者ネットワークの整備	青梅駅周辺:「東京都無電柱化チャレンジ支援事業制度」の活用や、青梅宿と青梅丘陵を結ぶ市道幹27号線(キネマ通り)の整備 東青梅駅周辺:東京都と連携協力した「みちづくり・まちづくりパートナー事業」や青梅3・5・24号根ヶ長淵線の整備など、交通の円滑化を推進	市	各路線で計画的に推進				各路線で順次実施	
避難所・避難場所の環境整備	避難所等となる学校体育館において、停電時に空調等を使用するための災害バルク等を整備するとともに、災害時に活用できるよう訓練を実施していく。	市	災害時に活用できるよう訓練を行う				継続実施	
地域プロモーションOmeBlueの推進	市民や事業者がロゴマークと青色を取り入れて地域の魅力を発信していく取組を行う。	市・民間	市や民間事業者へOmeBlueの周知活用の推進及び事業の見直し検討		PR大使の更なる任命		継続実施	
東京アドベンチャープロモーション事業の推進	奥多摩町や観光協会等と連携してインフルエンサーを活用した観光資源の情報発信の取組を行う。	市・民間	自走化検討	自走化の推進			継続実施	
持続可能な観光地づくりの推進	世界水準の持続可能な観光地づくりを目指し、多様な主体と連携し、情報提供や気運醸成、自然や文化等の観光資源の適切な保全・活用、環境負荷の低減に取り組む。	市・民間	個別事業実施	中間見直し	個別事業実施	次期観光戦略の策定作業	継続実施	
地域公共交通計画の推進	令和5年3月に策定した計画にもとづき、令和5年度から10年間を計画期間として、持続可能な公共交通の実現を目指すための各種施策を実施する。	市	施策の推進				令和14年度	

町田

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次	
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
町田駅周辺の開発の推進	「町田駅周辺開発推進計画」の実現に向けて、駅周辺の開発を推進する。	市・民間	開発の検討・推進				継続実施	
多摩都市モレール延伸を見据えた快適で便利な交通ターミナルの再編	多摩都市モレール町田方面延伸を契機に、「広域都市拠点」にふさわしい快適で便利な交通ターミナルの再編を推進する。	市・民間	再編の検討				継続実施	
芹ヶ谷公園「芸術の杜」の整備	芹ヶ谷公園と美術館を一体的に運営するプロジェクトでは、市民や公園利用者ととも、公園の将来を一緒に考え、活動し、創造していくための取組を実施する。	市	(仮称)国際工芸美術館 修正設計	(仮称)国際工芸美術館 整備	(仮称)国際工芸美術館 整備3/4	(仮称)国際工芸美術館 整備4/4	令和11年度 開館	
				(仮称)体験棟整備	(仮称)体験棟整備3/3		令和9年度 開館	
				公園エレベーター棟 整備工事	公園エレベーター棟 整備工事3/4	公園エレベーター棟 整備工事4/4	令和10年度 エレベーター棟の供用開始	
				公園実施設計(第2期)	公園整備(第2期)	公園整備2/3	公園整備3/3	令和10年度 供用開始
原町田一丁目のまちづくりの推進	町田駅南側から多くの人をまちなかへ迎え入れるために、交通環境の整備やまちなかへのアクセス強化に取り組む「南の玄関口」としてのまちづくりを推進する。	市・民間	開発の検討・推進				継続実施	
原町田大通りの憩いとにぎわい空間の創造	中心市街地に新たなにぎわいを創出するため、原町田大通りに滞留空間等の整備を進める。	市・都市再生推進法人(株)町田まちづくり公社	滞留空間等活用				継続実施	
原町田中央通りの魅力づくりの推進	無電柱化・舗装のリニューアル事業にあわせて、人が主役の快適で居心地の良い通りの実現に向け、沿道空間の活用など商店街の魅力づくりを推進する。	市(権利者、商店会等)	沿道空間活用の社会実験の実施・検証		地域による沿道空間活用		令和11年度に無電柱化事業による舗装整備を完了	
			沿道空間整備の権利者調整 地域ルール検討		沿道空間整備の測量 権利者調整	沿道空間整備の設計 地域ルール作成		

吉祥寺

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
吉祥寺方式物流対策事業	吉祥寺での荷さばきの基本方針、各プレイヤーの取組目標、荷さばき問題への取組状況を整理し、平成24年に「きっちり・すっきり・吉祥寺 荷さばきガイドライン」を発行。定期的に「荷さばきルール徹底週間」を実施している。	民間・市	実施				継続実施
吉祥寺パークエリアまちの将来像立案	吉祥寺パークエリアが今後も魅力的なまちとして発展、継続していくため、それぞれの事業や実施主体が同じ方向を目指し、ともに良いまちづくりを進めていくための「共通の行き先」を示す「吉祥寺パークエリアのまちの将来像」を立案する。	市	将来像の検討		将来像の検討・策定	将来像の周知・機運醸成 将来像の実現に向けた施	継続実施
武蔵野公会堂の改修	老朽化が進む武蔵野公会堂の更新について検討し、有識者会議等の実施を経て、「武蔵野公会堂改修等基本計画」を令和5年4月に策定した。	市	設計	改修			令和9年度
武蔵野3・3・14号線南口駅前広場事業	歩行者の安全性・利便性の向上、また井ノ頭通りのバス停の削減による交通の円滑化を図るため、平成12年に面積約1,900㎡の交通広場を都市計画決定した。	市	用地交渉・整備				継続実施
区画道路(市道第104、151、190、298、299号線)の整備	駅周辺の利便性の向上や地区内の合理的な土地利用を図る。	市	用地交渉・整備				継続実施

武蔵境

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
武蔵野3・4・2号線(天文台通り)の整備	東京都と武蔵野市が連携・協力して整備(第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業)を行うことで、駅周辺のまちづくりの促進のほか、地域の利便性や防災性の向上を図る。	都・市	用地交渉 整備				令和8年度(事業認可期間)

武蔵野駅北口の区画道路(市道第262、263、264、266、267、269号線)の整備	適正な土地利用の促進と防災機能の向上を図る。	市	用地交渉・整備	継続実施
境南ふれあい広場公園のあり方検討	境南ふれあい広場公園は、「武蔵野のまちづくり」の拠点として、武蔵野プレイスと一体となった緑豊かな憩いの場となっており、多くのイベントが開催されるなど、地域の活性化とにぎわい創出の観点から柔軟な利用ができる公園となっている。開園当初、緑あふれる空間として親しまれていたが、現在では、芝生の擦り切れや裸地化等が進んでおり、改めて公園のあり方について地域とともに検討を進めていく。	市	検討・設計 整備	令和9年度

三鷹(武蔵野市例)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
三鷹駅北口街づくりビジョンに基づく施策の推進	「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向け、三鷹駅北口らしい企業展開の促進や玉川上水の活用と顔となる空間づくり等施策の推進を図る。	武蔵野市	継続				現時点で未定
新たな交通体系の構築に向けた取組	三鷹駅北口交通環境基本方針に基づき、交通環境課題の解決やウォークアブルなまちづくりの推進を目指し、協議・検討を進める。	武蔵野市	三鷹駅北口交通環境基本方針に基づく調査・検証・事業化の検討	継続			現時点で未定
三鷹駅北口地区補助幹線道路(市道第129、293号線)の整備	駅前広場へ進入する通過交通を迂回させ、沿道の土地利用の促進を図る。	武蔵野市	用地交渉・整備	継続			現時点で未定

三鷹(三鷹市例)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業	「緑と水の公園都市」の玄関口のシンボルとして、三鷹駅前地区の活性化の拠点となるよう整備を進め、「付加価値の向上」や「三鷹の魅力向上」を目指す。	三鷹市・UR		計画検討・合意形成・調整 基本構想改定			継続実施
緑化推進整備事業	“百年の森”構想の実現に向け、三鷹駅前地区で積極的に緑化を推進する。	三鷹市		調査・研究 基本構想改定			継続実施
交通環境改善事業	交通課題の改善に取り組み、利便性、安全性の向上を図るとともに、駐輪場の整備を検討する。	三鷹市		調査・研究 基本構想改定			継続実施
中央通り商業空間整備事業	歩行者の回遊性とにぎわい創出、景観づくりに重点を置いた整備に取り組み、商業者を支援していく。	三鷹市		調査・研究 基本構想改定			継続実施
回遊性を生む道路環境整備事業	歩行者と自転車利用者を基本とした歩きたくなる(ウォークアブルな)まちづくりを推進する。	三鷹市		調査・研究 基本構想改定			継続実施
バリアフリー基本構想の改定	心のバリアフリーの推進や、重点整備地区内で特定事業の推進を図る。	三鷹市	基本構想の運用		基本構想の改定準備	基本構想の改定	令和9年度

府中

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
通り庭の活用	新庁舎建設の1期工事である「おもや」が完成。2期工事では「通り庭」に面して庁舎機能や市民協働の場を設け、市役所を訪れた人だけでなく、誰もが気軽に訪れやすく、多様な活動が生まれる開かれた庁舎を計画する。	市	「はなれ」建設工事	「はなれ」建設工事(8月まで) ・通り庭供用開始(9月から) ・通り庭利活用開始(1月から)	通り庭の利活用を継続実	通り庭の利活用を継続実	継続実施
けやき並木など府中駅周辺施設におけるパブリックビューイング等の実施	第2次府中市スポーツ推進計画を策定。トップスポーツの観戦・応援機会の充実として、市内施設を利用したパブリックビューイングの実施などを挙げている。	市	各年度開催				継続実施
国史跡武蔵国府跡(国司館地区)整備	平成30年11月から一般公開。歴史的価値を高め、駅前のにぎわい創出を目指した第2期整備に取り組む。	市	・基本計画の策定 ・にぎわい創出の実証実験の実施及び検証	・建物の基本設計 ・地盤調査及び対策工設計	・建物の実施設計 ・管理運営条件検討 ・整備工事	・管理運営者選定 ・整備工事	継続実施
大國魂神社・けやき並木周辺地区の景観整備	けやき並木の景観を保全するとともに、府中市景観計画に基づき、けやき並木通り沿道の景観形成を促進する。	市	・ケヤキ並木保護巡回 ・ケヤキの苗木の植樹	・保護管理計画の改定 ・ケヤキ並木保護巡回 ・ケヤキの苗木の植樹	・新計画に基づく体制・手法の検討 ・ケヤキ並木保護対策 ・次世代木の育成	・ケヤキ並木保護対策 ・次世代木の育成	継続実施
		民間		建築計画の際に景観計画に基づき協議を行う			
けやき並木周辺地区空間活用事業	都市再生特別措置法における「都市再生整備計画」「都市利便増進協定」に基づき、(株)まちづくり府中(都市再生推進法人)と共に道路等を活用した事業を行うことにより、にぎわいを創出する。	市および株式会社まちづくり府中		官民が連携して府中駅周辺の道路等を活用し、にぎわいを創出する			継続実施

調布

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
調布市観光案内所「ぬくもりステーション」の運営	調布駅改札外コンコースに設置されている。市内の観光案内やイベント等の情報発信を行い、調布市の魅力を伝えていく。	市	調布駅改札外コンコースに一時移転		引き続き調布駅改札外コンコースにて運営予定		令和10年度
映画のまち調布 シネマフェスティバルの開催	授賞式をはじめ、映画制作者のトークショー付きの映画上映会、映画・映像関連の展示やワークショップなど、さまざまなイベントを開催し、まちのにぎわい創出を図る。	民間・市	各年度開催		各年度開催予定		継続実施
京王線地下化後の鉄道敷地等の歩行者空間ネットワークの形成	京王線地下化後の鉄道敷地(調布駅・布田駅・国領駅の駅前広場と各駅をつなぐ連続した空間)を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の整備を進めている。	市					
調布駅前広場の整備	調布駅前広場について関係機関協議や市民参加を実施し、調布駅前広場整備計画図を決定・公表している。整備計画図を基に、令和7年度の完成(一部を除く)に向けて整備を進めている。	市	整備				令和7年度
都市計画道路の整備(調布3・4・28号線の整備)	調布駅の東側に位置する調布3・4・28号線は、品川通り～京王線の区間について、事業を推進している。	市		整備			令和8年度
都市計画道路の整備(調布3・4・26号線の整備)	布田駅の西側に位置する調布3・4・26号線は布田駅～旧甲州街道区間及び旧甲州街道～甲州街道区間について、事業を推進している。	市		整備			令和8年度
重点整備地区におけるバリアフリー整備	調布駅・布田駅・国領駅周辺地区は重点整備地区として位置付けている。連続立体交差事業による京王線地下化後の鉄道敷地を活用して整備した緑道、上布田公園や国領駅周辺の公園等を生活関連施設に位置付けている。	市		毎年、進捗状況を確認			令和12年度
グリーンホールの建替え	グリーンホールについては、駅前広場に隣接した立地を最大限生かした現敷地での整備に関する方向に関して、工事費高騰を背景とした大型公共施設整備を取り巻く状況を考慮しながら、より一層の多角的な視点で検討を行っている。	市	サウンディング調査・基本構想策定着手		検討中		検討中により未定

調布駅南口中央地区市街地再開発事業の検討	調布駅南側の駅前広場に面した約1.9haの区域において、地域住民が主体となり市街地再開発事業を検討。令和3年4月に再開発準備組合を設立した。	民間	通年で検討	通年で実施	継続実施
調布スマートシティ協議会(産学官民やDXを活用したまちづくり)	調布スマートシティ協議会は、産学官民の連携の下、社会的課題解決を図ることを目的に、地域の持続的成長につながる新しいサービス・事業の創出等に向け取り組んでいる。協議会の取組を踏まえ、市として、産学官民の各役割や共有すべきまちづくりの方向を定め、「共創のまちづくり」の更なる推進につなげていく。(市域全体)	民間・市	「ビジョン」策定・共有	取組推進	未定

武蔵小金井

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
北口のまちづくり	平成20年北口再生協議会発足、地元と協力して武蔵小金井駅北口のまちづくりを推進していく。	民間・市・協議会		進捗により、協議会等を随時実施			継続実施
高齢者向けのセミナー農園等の運営支援	都市農地の保全、高齢者の活躍及び多世代交流を併せて推進するため、都、農園運営事業者、農地所有者及び市で締結した協定に基づき本事業を実施・運営している。	小金井市観光まちおこし協会		運営支援			継続実施
駅周辺の無電柱化の推進	都市計画道路に合わせた整備や人通りが多く歩道が整備されているムサコ通りを優先的に推進する。	市	本体工事・引込連系管工事	引込連系管工事	電柱抜柱工事 ムサコ通り整備完了予定		令和9年度ムサコ通り整備完了予定
駅周辺の都市計画道路の整備	安全で快適に移動できる歩行空間の確保及び災害時の防災機能など多様な機能の整備を行う。	都・市		用地取得	道路整備		継続実施
武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業	「にぎわいのある魅力的な商店街に再生し、楽しく歩けるまち」を実現するため、再開発事業を推進する。	民間	組合設立	工事着手	工事中		令和11年度

国分寺

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
北口駅前広場における太陽光・風力発電機・マンホールトイレの設置	防火水槽やマンホールトイレなど、充実した防災設備や、自然力をいかした風力・太陽光発電設備の配備・維持管理を通して、多機能で先進的な駅前空間を創出する。	市		整備済み・維持管理を実施			継続実施
国分寺駅北口駅前広場イベント広場におけるこくべジ定直売支援	「こくべジ」は、国分寺市内の農家が販売を目的に生産している農畜産物の愛称である。市内各所に直売所があり、国分寺駅北口駅前広場イベント広場においても定期的に直売をしている。	JA東京むさし国分寺ファーマーズマーケット/国分寺産直会		継続予定			継続実施
バリアフリー基本構想において重点整備地区に指定し、バリアフリー化を推進	バリアフリー基本構想において、国分寺駅周辺地区を重点整備地区に定め、各事業者がバリアフリー化に取り組みよう、特定事業計画を推進する。	市を含む各事業者		各事業者においてバリアフリー特定事業の実施			継続実施
駅周辺の都市計画道路の整備	国分寺3・4・12号国分寺駅上水線(本町三丁目地内～本多二丁目地内)において、国分寺駅北口へのアクセシビリティ及び周辺地域の防災性・安全性の向上、快適な都市空間の創出などに資するため整備を推進する。	市		整備実施			令和8年度

国立

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
産業振興(商店街イベント等支援)	商店会以外の「個別商店の連携団体」が行うイベント事業に対して補助金を交付する制度により、市内のにぎわいを創出する。	市		随時実施			継続実施
ウォークアブルなまちづくり	国立駅南口駅前広場整備に向けて、みどりや人の空間を増やし、憩いやにぎわいが生まれる広場整備を目指し進めている。	市	基本設計	実施設計	工事		令和11年度完成予定
国立駅南口駅前広場整備	国立駅南口駅前広場整備に向けて国立駅南口駅前広場基本設計(案)に対する市民説明会やアンケート調査を実施し市民の方のご意見を聞きながら設計を進めている。	市	基本設計	実施設計	工事		令和11年度完成予定
農作物直売イベントの開催	地元農家による、新鮮な地産野菜の販売会である「くにたちマルシェ」をJR国立駅北口で定期的に開催している。	市・農家		くにたち野菜の販売会の開催・活動支援			継続実施
LINKくにたちの開催	大学連携にて、市民が協力しつなかりを強め、スポーツに親しみを持つことを目的としたスポーツイベントを開催する。	市・市民		5月開催			継続実施

拝島(昭島市側)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
駅南口駅前のまちづくり	地区計画と地元組織(まちづくり委員会)が策定したガイドラインの遵守により、市と地元が一体となったまちづくりを継続する。	民間			随時実施		継続実施
駅南口周辺のまちづくり	地区整備計画区域外であることや、昭島3・4・19号の事業化では段丘であることなどの課題がある。	昭島市・民間			計画段階		未定

拝島(福生市側)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
立地適正化計画による都市機能の誘導	平成30年6月に福生市立地適正化計画を公表し、令和6年3月に改定した。「拝島駅周辺を中心とする拠点」では、地域住民の利便性の維持・向上を図る観点から、スーパーマーケット等の生活利便施設の立地誘導を図る。	福生市		届出による誘導を実施			継続実施
サイクルシェアリングの運用	地球温暖化対策の推進、交通利便性の向上、地域振興及びその活性化を図るため「HELLO CYCLING」によるサイクルシェアリングを実施している。	民間		令和4年度より運用			継続実施

高尾

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
高尾山口駅周辺地区まちづくり	高尾山口駅周辺地区のまちづくりについて、地元組織(町会・商店会等)、事業者等及び行政が連携した協議会を設置し、観光交流と暮らしの調和のための協議・調整を行っていく。	市			継続		継続実施
高尾駅周辺基盤整備	高尾駅周辺地域の安全性・利便性を高めるため、観光拠点及び交通結節点として重要な高尾駅において、南北自由通路及び北口駅前広場の整備を行う。	市	都市計画変更	事業認可申請	南北自由通路の工事(予定)		令和20年度
高尾駅周辺の景観形成に資する「高尾駅北口地区屋外広告物地域ルール」の運用	景観計画に定める重点地区である高尾駅北口地区において、市内で初めて、屋外広告物の表示等に関する特別な基準等を定め、『自然・歴史文化と調和し、にぎわいを演出する広告景観』の実現を目指す。	市		運用	ルールに則った許可を行う		未設定
シェアサイクル事業	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	民間		本格実施			継続実施
		市	ビッグデータの活用検討	ビッグデータの施策展開活用			継続実施
八王子城跡の保存・活用	「八王子市文化財保存活用地域計画」「八王子城跡保存整備基本構想・基本計画」などに基づき、史跡としての八王子城跡の保存・活用を図る。	市			継続		継続実施

八王子みなみ野

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
地域づくり推進会議による取組	地域の将来ビジョンに「集まり、つながり、風の生まれるまち～人、自然を豊かに愉しむ八王子みなみ野～」を掲げ、その実現に向けて「地域の魅力の発信・共有」や「みんなが楽しくつながる機会づくり」などにつながる取組を、活動団体である「みなみ野座」を立ち上げ進めている。	市	「地域づくり推進計画」に基づく取組		検討中	検討中	継続実施
シェアサイクル事業	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	民間	本格実施				継続実施
		市	ビッグデータの活用検討		ビッグデータの施策展開活用		継続実施
多摩都市モノレール八王子ルート整備促進	八王子ルートの早期整備の実現に向けて、新たな土地利用を図るなど、需要を高める沿線まちづくりを進めるとともに、有識者による検討会議を立ち上げ、事業性を高めるルート検討など、課題解決に向けて戦略的な検討を進める。市民の機運醸成に向けて、車両基地見学会の開催等の啓発イベントを実施する。	市	啓発活動・要望行動・東京都との協議				継続実施
			ルート検討		未定		未定
			沿線まちづくり検討				

分倍河原

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
分倍河原駅周辺整備事業	まちづくり基本計画に基づき、北側溜まり空間、西側溜まり空間、南側駅前広場、南北自由通路、東西自由通路、駅舎改良等のハード整備を実施する。	市	実施設計・用地取得			工事	令和18年度
分倍河原駅周辺まちづくり協議会	分倍河原駅周辺地区では、令和2年に策定した「分倍河原駅周辺地区まちづくり基本計画」に掲げる施策の進捗状況や内容について、地元の自治会や商店会等の代表により組織された分倍河原駅周辺まちづくり協議会と意見交換を行っており、市民協働のまちづくりを推進する。	協議会	適宜開催				令和19年度
良好な市街地環境の形成	分倍河原駅周辺地区では、府中市地域まちづくり条例に基づき、まちづくりの目標・方針等を定める「まちづくり誘導計画」を策定し、将来、地域特性を踏まえた良好なまちのルールづくりを検討する。検討においては、内容を視覚的に分かりやすくするため、VR(3Dモデルデータ)を作成し、継続的に活用する。	市	まちづくり誘導計画の策定		良好な市街地環境の形成		令和19年度

昭島

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
保健福祉センターの改修工事	保健福祉センター(あいほく)は、保健、福祉などのほか、社会福祉協議会などを含めた複合施設。屋上に太陽光発電及びソーラー、非常用発電機が設置され、トイレの洗浄水には雨水を利用している。環境にもやさしい施設である。今回の改修工事により施設の更新及び増設を図り、子供、大人、高齢者など多くの市民の交流の場にふさわしい魅力的な拠点の形成を図っていく。	市	工事				令和9年度末
昭島・昭和の森武藤順九彫刻園運営事業	「保全すべき樹林地に、木洩れ日に溶け込むように作品を配置し、自然とともに芸術に触れあうことができる空間」。行政、企業、作者が協力し世界に発信する日本で初めてのプロジェクトである。事業の継続により市民や来街者との交流の場としてふさわしい、にぎわいと回遊性のある魅力的な拠点の形成を図っていく。	市・民間	事業実施				継続実施

仙川

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
調布国際音楽祭の開催	新緑の季節に開催されるクラシック音楽の祭典として2013年にはじまった調布国際音楽祭である。地域特性をいかしたまちづくりにつなげて、市のにぎわい創出を図る。	市	各年度開催		各年度開催予定	各年度開催予定	継続実施
調布3・4・17号線の整備	甲州街道～三鷹市内までの南北方向に道路ネットワークを構築し、東京外かく環状道路へのアクセス強化を図る。これにより、避難路としての機能が強化され、地域の安全性・防災性が向上する。	都	事業推進				継続実施

鶴川

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
香山緑地の整備	私設の美術館であった建物と庭園、緑地を含む一帯を町田市が買い取り、多くの人が利用できる施設として整備を推進。	市					令和6年12月に建物耐震改修を完了。令和7年1月に香山緑地整備を完了し、同月に開園
町田都市計画事業鶴川駅南土地区画整理事業	南口交通広場や道路、下水道、調整池、公園・緑地等の公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることで、駅前になぎわい・にぎわいのある市街地を形成する。令和13年度の完了に向けて整備工事中。	市	整備工事				令和13年度 事業完了
鶴川駅改良事業	自由通路整備に併せて橋上駅舎化を実施し、駅利用者の快適性・利便性の向上を図る。令和9年度の橋上駅舎使用開始に向けて整備工事中。	民間	整備工事		既存駅施設撤去等		令和9年度 使用開始
和光大学ポプホール鶴川の交流スペースを活用した市民活動支援	鶴川地区の55団体で構成する鶴川地区協議会により、鶴川地域の交流促進や様々な困りごとを相談する場として、毎月第3水曜日に和光大学ポプホール鶴川にて「3水スマイルラウンジ」が開催されている。また、「まなびのひろば」「おやこのひろば」「スマホ教室」「折り紙教室」「無料法律相談」といったプログラムに多くの方が参加している。	市	事業実施				継続実施

南町田

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
南町田拠点創出まちづくりプロジェクト	鉄道駅に都市公園と商業施設が隣接している南町田のまちの資源を最大限に生かし、町田駅に次ぐ「にぎわいとみどりの都市拠点」として、自然とにぎわいが融合したまちの更なる魅力向上を図るため、官民が共同して運営を進める。	市・民間	事業実施				継続実施
複合利用ゾーンの土地利用検討	駅前の各機能を補完する機能の導入に向けて、社会情勢などを考慮して土地利用を検討。	民間	事業実施		令和9年上期 暫定活用開始	事業実施	継続実施

東小金井

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
東小金井駅北口のまちづくり	東小金井駅北口まちづくり協議会は、東小金井駅北口のまちづくりを円滑に推進するために地権者や学識経験者等で組織され、まちづくりに関して市と協議を行う機関となっている。	協議会	必要に応じて実施				継続実施
農工大ベンチャーポート入居企業に対する支援	東京農工大学連携型起業家育成施設(名称:農工大・多摩小金井ベンチャーポート)である。中小企業基盤整備機構が東京農工大学と連携し、同大学の小金井キャンパス内に整備・運営している。	国	東京農工大学のオフィスを貸出して運営				継続実施

東小金井駅北口土地区画整理事業	土地区画整理事業による4本の都市計画道路、4,400㎡の駅前交通広場、2つの公園等の都市基盤整備や土地の有効活用を図ることにより、小金井市東部地区の地域中心として魅力ある市街地環境を創出する。	市	事業実施	令和16年度
-----------------	--	---	------	--------

花小金井

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
駅周辺のまちづくりに向けたオープンハウスの開催	花小金井駅周辺地区の都市計画道路や道路と鉄道の立体化などのまちづくりに関する情報を説明することで、まちづくりに対する市民意識の高まりを創出する。	市		開催			継続実施
灯りまつり	夏の夜に狭山・境緑道沿いの公園や、玉川上水緑道沿いの中央公園などで、住民等が作った灯籠の灯りを楽しむイベントを開催し、まちのにぎわい創出を図っていく。	市		開催			継続実施
小平3・3・3号新五日市街道線の整備	「東京における都市計画道路の整備方針」に基づき、検討を進め、事業化を図っていく。	都		検討中			継続実施

高幡不動

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
高幡不動尊～新選組まつり～	関東三大不動の一つである高幡不動尊では、重要文化財のほか、境内では四季折々の自然風景や催事により、年間を通して多くの来訪者を楽しませている。また、新選組副長・土方歳三の菩提寺でもあり、ひの新選組まつりでは隊士コンテストなどが行われ、全国から新選組ファンが訪れている。	市・民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	各年度開催	引き続き各年度開催を予定
商店会どっと混む！！	駅周辺の高幡不動商店会・高幡若宮通り商店会・高幡不動参道会の3商店会が地元商店の魅力を発信し、さまざまなイベントを開催する。	民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	各年度開催	引き続き各年度開催を予定
たかはたもみじ灯路	高幡不動駅前の商店街に多くの灯籠を並べ、照明の落とされた街並みにやわらかなるそくの光の路を創り出すイベントを開催している。紅く色づく高幡不動尊のもみじとともに街が幻想的な雰囲気にも包まれる。	民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	各年度開催	引き続き各年度開催を予定
第三次日野市バリアフリー基本構想	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画を策定し、重点整備地区(移動円滑化促進地区)として福祉支援センターや高幡図書館など既存施設の改修を推進するとともに、一体的なバリアフリー化を誘導する。	市	整備期間(前期)		各特定事業計画に基づき事業を実施	各特定事業計画に基づき事業を実施	令和14年度

日野

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
日野宿～新選組まつり～	江戸時代、甲州道中の宿場であった日野宿には、都内で唯一残る本陣建物「日野宿本陣」をはじめ、新選組のふるさととして、その歴史に触れることのできる資料館も点在する。日野出身の新選組副長・土方歳三の命日に合わせて開催されるひの新選組まつりでは、日野宿周辺を会場とした隊士パレードなどに全国から多くの来場者を迎えている。	市・民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	各年度開催	引き続き各年度開催を予定
日野産農産物の即売事業～農あるまちづくり日野～	定期的に駅前広場等で季節の野菜や特産品を販売するほか、市内小中学校へ給食用食材として日野産農産物を提供する取組を実施している。次世代を担う日野市若手農業者の団体「RHINO BLUE FARMERS CLUB」が発足した。	民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
日野宿通り周辺「賑わいのあるまちづくり」プロジェクト	駅周辺のキョテンとして、地域主導により地域の力や資源を融合させた様々な取組を行い、日野宿通り周辺のにぎわいを創出し地域の活性化を行う。	民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
第三次日野市バリアフリー基本構想	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画を策定し、重点整備地区(移動円滑化促進地区)として歩道の改修による段差解消や波打ち歩道の解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置の他、公共施設等の更新を推進するとともに、一体的なバリアフリー化を誘導する。	市	整備期間(前期)		各特定事業計画に基づき事業を実施	各特定事業計画に基づき事業を実施	令和14年度

豊田

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
多摩平団地の再編整備に伴う拠点形成(多摩平の森まちづくり重点地区)	多摩平団地の再編整備にあたり、駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進める上で、拠点地区と連続性のある地域活力を創出するまちづくりを推進し、駅前の魅力向上や南北の一体的なまちづくりを段階的に推進する。また、多摩平の森まちづくり重点地区では、「多摩平の森地区地区計画」「黒川緑地地区地区計画」の2つのまちづくりのルールを定めている。	市 都市再生機構		段階的まちづくりの誘導			継続実施
住み替え支援モデル事業の実施	日野市、独立行政法人都市再生機構及び野村不動産(株)で協定、日野市民向け優先販売の実施や今住んでいる住宅の売却の支援等、住み替え支援を試験的に実施する。	市					令和6年度にモデル事業を完了
豊田南土地区画整理事業	昭和61年より土地区画整理事業が開始され、駅前の商業機能の充実、幹線道路・駅前広場等の整備による利便性と安全性の向上、崖線・豊田用水・湧水路等の自然景観をいかした水と親しみのある住環境の形成を図る。「豊田南地区地区計画」では、事業による効果の維持・増進を図りながら魅力あるまちづくりを目指すまちづくりのルールを定めている。	市		事業実施			令和50年度
地区まちづくり計画	日野市まちづくり条例に基づき、平成28年4月1日に豊田駅南口周辺、令和5年6月5日に多摩平一丁目9番地地区の地区まちづくり計画が決定し、計画に基づいた活動を住民らが主体的に行う。	民間		各協議会にて活動			継続実施
日野産農産物の即売事業～農あるまちづくり日野～	定期的に公園等で季節の野菜や特産品を販売するほか、市内小中学校へ給食用食材として日野産農産物を提供する取組を実施。次世代を担う日野市若手農業者の団体「RHINO BLUE FARMERS CLUB」が発足した。	民間	各年度開催	各年度開催	各年度開催	各年度開催	継続実施
第三次日野市バリアフリー基本構想	第二次日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進計画を策定し、重点整備地区(移動円滑化促進地区)として歩道の改修による段差解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置など推進するとともに、一体的なバリアフリー化を誘導する。	市	整備期間(前期)		各特定事業計画に基づき事業を実施	各特定事業計画に基づき事業を実施	令和14年度

東村山

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
そらいち東村山	公共空間の利活用を通して東村山駅周辺ににぎわいを創出していくことを目的に、市民や市内事業者が中心となり、マーケットイベントを開催した。	市民	毎年1回開催(※現在は東村山中央公園で開催するなど活動を継続している)		毎年1回開催(市内の公園などで活動を継続)		継続実施
起業・創業支援	支援機関と連携した個別相談や創業セミナー及び創業塾の開催など、年間を通じた支援体制を構築し、起業・創業しやすい環境を整備する。	市	創業塾の開催(年3回)など、年間を通じた支援を実施		年3回、創業塾の開催		継続実施
新たなワークスタイルの提供	多様化する就労ニーズに合わせたオフサイト型の職任近接オフィス「ジョブシェアセンター東村山」を公民連携により、平成30年度に東村山市市民センター1階に開設した。	市・民間	多様な働き方のニーズに対応する検討・検証、女性デジタル人材育成とその活用方法の検証		R9：実施予定	R10：前年の状況を見て検討	継続実施

東村山編集室	東村山市の暮らしをよりよくしていくため、市公式note内のマガジン【東村山編集室】で地域ライターが投稿する記事を公開し、まちや人の魅力を伝えていく。	市民	市より認定を受けた市民ライターが独自に取材し、随時、記事を発信	継続して記事を発信	継続実施
東村山シティプロモーションプラットフォーム	まちで活動する様々な団体等を有機的に連携させるプラットフォームを設立し、各々の情報や得意分野を共有し、シティプロモーションを促進するための人的ネットワークとすることを旨とする。	市民	市民や企業の方を対象に、毎回テーマを決めて、意見交換会・勉強会を実施	継続して意見交換会・勉強会を実施	継続実施
西武新宿線、国分寺線及び西武園線(東村山駅付近)連続立体交差事業(鉄道の高架化)	用地確保、高架橋構築工事を行う。	都・市・民間	工事		令和10年度完了予定
鉄道付属街路の整備	鉄道の高架化完了後、整備着手する。	都・市	設計・工事等		継続実施
高架下空間の利用	鉄道事業者と連携し、必要な施設配置等を検討する。鉄道の高架化完了後、整備着手する。	都・市・民間	検討、都・鉄道事業者との協議・調整等		継続実施
東村山駅東口駅前広場再整備	東村山駅東口駅前広場再整備基本計画を令和5年度末に策定した。	市	関係者協議・調整・連携方策の検討 実証実験による空間やつかい方等の検討	設計等	継続実施
エリアデザイン指針の検討	東村山駅周辺で行われる複数の事業間で整合を取り、一体感のある東村山らしい空間の創出に向け、公民が共有するエリアデザイン指針を策定するために検討を進めている。	市	エリアデザイン指針の検討	エリアデザイン指針の運用	継続実施
中心核機能の向上	東村山駅東口地区約6haの地権者を対象に勉強会等を実施し、市街地再開発の機運醸成等を支援する。	市・民間	勉強会・計画作成等		継続実施
幹線道路網の整備	東村山3・4・10号線、31号線(市施行)、東村山3・8号線(都施行)の事業を推進する。	都・市	用地取得・設計・工事等		継続実施
駅周辺道路の整備	東村山3・4・9号線(L=59.5m)(新規路線)及び市道第280号線1(道路拡幅事業)東村山3・4・9号線(L=267m)(新規路線)、市道第81号線1(嵐の道)の事業を推進する。	市	用地取得・設計・工事等		継続実施
東西動線の整備	鉄道の高架化完了後、整備着手する。	市	設計	用地取得・設計等	継続実施

西国分寺

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
西国分寺駅北口周辺まちづくり計画	令和2年3月「西国分寺駅北口周辺地区まちづくり計画」を決定した。「暮らしやすい魅力的な住宅都市」「人が中心の都市デザイン」「まちを育て誇りを育む」を実現するよう、市民、関係団体、行政等の連携により推進する。	市民 関係団体 市	整備実現に向けた検討・組織化		整備実現のための都市計画決定に向けた各種調査・検討、並びに権利者の組織化		継続実施
シェアサイクルステーションの整備	片道利用のできる自転車サービスであり、観光をはじめとする市内の回遊性の向上や、近隣導入市(府中市等)との乗り入れ、駐輪場の混雑緩和、災害時の移動手段としての効果が期待されており、継続して実施していく。	民間		随時実施			継続実施

福生

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
福生七夕まつりの開催	昭和26年、当時の町職員が発案して以来、70年以上続いている。市と地元住民や企業が協働し、伝統的な民謡パレードや市民模擬店などを実施し、例年多くの来訪者でにぎわう。	市		毎年度開催			継続実施
ウォークナなまちづくりの推進	令和2年2月に福生駅東口(富士見通り地区)、令和3年7月に福生駅西口地区に地区計画を決定した。にぎわいのある商業・業務施設、利便性の高い市民サービス機能を有した公益施設、快適な居住施設を整備するとともに、良好な街並み形成、歩行者環境の創出を図る。	市		地区計画による運用			継続実施
福生3・4・7号富士見通り線整備事業	福生駅東口交差点部～産業道路の東福生交差点部までの延長350mについて、道路拡幅を伴う歩道整備及び電線地中化工事を実施することにより、延焼遮断帯を形成しつつ、歩行者空間を確保する。	市	埋設管工事		電線共同溝工事	電線共同溝工事 道路築造工事	継続実施
福生駅西口地区第一種市街地再開発事業	平成29年に準備組合を設立した。JR福生駅西口の2.2haについて令和3年9月に都市計画決定した。	民間	組合設立認可等に向けた検討		組合設立認可に向けた検討	組合設立認可された場合は、権利変換計画認可に向けた検討	継続実施

狛江

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
市民センターの改修	市役所と併設されている市民センター(中央公民館・中央図書館)については、図書館の一部機能を残しつつ公民館機能の充実を図るとともに、市民活動支援センターが加わる複合施設としてリノベーションを行う。	市	工事				完了
図書館の移転	1と併せ、図書館本体の機能は、駅周辺の別の場所へ移転して新たに整備し、機能的で利用しやすく、多くの市民に親しまれる図書館を目指す。	市	工事				令和8年度
駅前の滞在快適性の向上	狛江駅北口や小田急線の側道などの狛江駅周辺エリアにおけるにぎわいの形成や地域住民の交流促進を目的として、歩道の舗装のグレードアップを行うなど快適な歩行空間を創出する。 また、民間事業者である小田急マルシェ狛江の改修と合わせて、同一の意匠により一体的な駅前空間を創出するとともに、歩行者利便増進道路(ほこみち)制度を活用して歩行者空間を有効活用したテラス席等を作り、魅力ある駅前空間を創出する。 令和5年10月には「狛江まちみらいラボ」を設立し、「ほこみち運営」及び「エキマチカイギ」を通じた地域のまちづくり人材を育成し、公共空間のデザインに市民が参画する等、駅北口周辺のエリアマネジメント等を推進している。	市・民間		継続的に運営			令和8年度以降
狛江駅南口周辺におけるまちづくり	狛江駅南口周辺について、令和7年度を目標にまちづくり方針(市街地総合再生基本計画)の(案)を庁内で作成し、令和8・9年度に市民意見の聴取、反映を経て策定し、中心拠点・都市機能誘導区域としてふさわしいまちづくりを進めていく。 また、まちづくり条例に基づき、当地区で活動する市民組織(狛江駅南口地区地区まちづくり協議会)を支援し、市民協働によるまちづくりを推進する。	市・市民	まちづくり方針(案)の作成	まちづくり方針の策定 市民組織へ継続的に支援		まちづくり方針に基づくまちづくりの推進 市民組織へ継続的に支援	・令和9年度(まちづくり方針) ・継続実施(市民組織への支援)

玉川上水(東大和市側)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
シェアサイクル	市内の回遊性の向上を図るとともに、新たな交通システムとしてのシェアサイクルの有効性を検証するため、令和8年3月まで実証実験を実施し、以後本格実施に移行する。	民間・東大和市	実証実験延長	検証	本格実施		継続実施
コミュニティバス(ちよこバス)	公共交通空白地域と、上北台駅、東大和市駅、玉川上水駅、武蔵大和駅などを結び、東大和市のコミュニティバスを運行中である。	民間・東大和市		継続実施			継続実施

玉川上水(立川市側)

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
駐輪場のあり方検討	駐輪場の適切な配置、運営方法等について検討が必要	立川市	調査	検討	検討・市内調整		継続実施
立川市柏町住宅団地の建替え	老朽化による建替えが想定され、「一団地の住宅施設」を廃止し、駅近接という立地を考慮した地区計画の検討が必要である。	民間					未定
立川3・3号線の整備	立川の北部、都心方面と連絡する東西方向の幹線道路である。多摩都市モレール西側は第四次事業化計画に位置付けられている。	都		検討中			継続実施

清瀬

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
児童館・図書館等の複合施設及び公園の整備	児童館のない清瀬駅南口地域に、清瀬市立中央図書館との複合化や清瀬市立中央公園との一体的な整備も行う。『清瀬駅南口地域児童館・中央図書館等複合施設及び中央公園整備基本計画』を令和4年3月策定。「ここ踊る出会いがのびのび・すくすくいきいき過ごす未来創造拠点」が事業コンセプト。	市	複合施設整備工事	供用開始			令和8年度に完了
清瀬駅周辺の未来構想ビジョンの策定及びその実現に向けた清瀬駅南口・北口駅前広場整備基本計画の策定	清瀬駅周辺のにぎわいを創出する未来構想を戦略的に検討するため、土地・建物利用状況、主要な集客施設分布等を把握する基礎調査を行う。調査結果をもとに、清瀬駅周辺のまちづくりに関する課題や取組を整理し、どのようにまちづくりを進めていくか方針を示すために清瀬駅周辺の未来構想ビジョンを策定する。また、未来構想ビジョンを実行に移していくために、清瀬駅南口・北口駅前広場整備基本計画の策定に向けて調査検討を行う。	市	まちづくりビジョンの策定		清瀬駅南口・北口駅前広場整備基本計画の策定に向けた検討		継続実施
清瀬駅開業100周年事業の実施	清瀬駅開業100周年を記念し、令和6年6月9日に清瀬けやきホールで記念式典を開催し、市内外から400人を超える申込みがあった。令和6年6月11日には、駅構内でテープカットや中森明菜さんの楽曲を使用した発車メロディ、ラッピング電車出発式などを開催し、多くのメディアに報道された。また、原材料に清瀬産野菜を使用した「きよせ棒」、「よしもカレー」をはじめとする記念グッズを制作・販売し、本市の認知度向上を図った。	市					令和6年度事業完了
けやき通りランドデザイン策定	清瀬市のシンボルロードである「けやき通り」が将来にわたって景観と安全性を発展的に保全するためのランドデザインを策定する。また、ランドデザインに基づく事業実施に向けた検討を行う。	市	ランドデザインに基づく事業実施に向けた検討		未定		無し

秋津

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
秋津・新秋津駅周辺まちづくり	地元住民などで組織された、秋津駅南口まちづくり推進協議会において、まちづくりの調査・研究を行うとともに、まちづくりの機運醸成や新たな担い手の掘り起こし、また今後の駅周辺のにぎわい創出のため、まちづくりシンポジウムやワークショップを実施するなど、市民全体のまちづくりの検討を進めている。	市		地元の合意形成に向けた意見交換等			継続実施
地元まちづくりの機運醸成	地元まちづくりの機運醸成に向けた取組として、秋津地域に暮らす楽しさや、喜びを再発見することをコンセプトに、地元住民で結成された実行委員とともにマーケットイベント「あきつとんぼ楽市」を令和5年から継続的に開催している。	市		マーケットイベントの開催等ソフト施策について地域を巻き込みながら実施 毎年1回開催（※現在は東村山中央公園で開催するなど活動を継続している）			継続実施
起業・創業支援	支援機関と連携した個別相談や創業セミナー及び創業塾の開催など、年間を通じた支援体制を構築し、起業・創業しやすい環境を整備する。	市	創業塾の開催（年3回）など、年間を通じた支援を実施		年3回、創業塾の開催		継続実施
東村山編集室	住民が作り手となる市公式のnote内マガジン【東村山編集室】で記事を公開することで、東村山市の魅力をよりよく伝えていくため、また、まちの魅力を伝えていく。	民間	市より認定を受けた市民ライターが独自に取材し、随時、記事を発信		継続して記事を発信		継続実施
東村山シティプロモーションプラットフォーム	まちで活動する様々な団体等を有機的に連携させるプラットフォームを設立し、各々の情報や得意分野を共有し、シティプロモーションを促進するための人的ネットワークとすることを旨とする。	市・民間	市民や企業の方を対象に、毎回テーマを決めて、意見交換会・勉強会を実施		継続して意見交換会・勉強会を実施		継続実施

東久留米

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
ブラック・ジャックの銅像を活用した誘客促進	東久留米駅西口ロータリー花壇内に建造した「ブラック・ジャック」の銅像を活用して誘客促進を行う。	市		ブラック・ジャックの銅像を活用した誘客促進			継続実施
防災拠点の整備	帰宅困難者を一時的に受け入れる一時滞在施設を確保するとともに、電源喪失時を想定しポータブル電源及びソーラーパネルを配備し非常電源の確保を図る。	市					令和6年4月一時滞在施設へポータブル電源等の配備
地区計画を活用したまちづくり	東久留米駅周辺の地区計画に係る壁面後退部分の使用に関する協定において、将来に渡って快適な歩行空間及び都市環境空間として確保する。	市		建物所有者等と随時調整			継続実施
東久留米駅西口駅前広場の再整備	東久留米駅西口昇降施設を改築するとともに、駅前広場についてバリアフリー化し、高齢者や障がい者を始めとした利用者の利便性や安全性の向上を図る。	市	調査・検討	都市計画手続	事業認可取得・整備計画(仮称)策定	施設整備	令和13年度竣工予定
東久留米駅周辺自転車等駐車場の整備	駅西口に都市計画自転車等駐車場を2か所整備した。今後は、駅周辺の放置自転車等への対応強化と、既存施設の最大限の活用を図るとともに、利用率等の推移を注視していく。	市					令和6年4月開設(東久留米駅西口第2自転車駐車場) 指定管理期間令和16年11月30日まで
				既存施設の最大限の活用を図り、利用率等の推移を注視			

聖蹟桜ヶ丘

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり	多摩川を活用したまちの魅力やにぎわいのある河川空間を目指し、協議会を設置し、エリマネ団体と連携しながら、持続可能な管理運営体制を構築する。	民間		河川空間のオープン化による利活用	河川敷からエリア全体の活性化につながる取組の検討		継続実施
せいせき観光まちづくり会議	聖蹟桜ヶ丘の魅力発信し、アニメや歴史・文化をいかしたまちづくりを推進する団体。地域の特性をいかし、観光振興や地域イベントを通じて街と訪れる人々をつないでいる。	民間		聖地巡礼の活性化や関連イベント等を実施	地域の魅力の再発見や地域への愛着の醸成に繋がる取組の実施		継続実施
アニメコンテンツをいかした取組	地域にゆかりのあるアニメコンテンツをいかしたイベント等を実施し、地域の活性化を推進する。	市・民間		随時	アニメコンテンツをいかした取組の検討・実施		継続実施
聖蹟桜ヶ丘駅西側地域街づくり協議会	聖蹟桜ヶ丘駅西側地域の良好な住環境の維持・向上と低未利用地等を有効活用したにぎわいと活力ある街づくりを目指し、街づくりの目標やテーマ、街の将来像を示す地域街づくり計画を検討している。	民間		取組状況などに合わせて開催	街づくり検討委員会の実施		継続実施

ひばりヶ丘

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
ひばりヶ丘駅北口の生産緑地地区を活用した公園整備	ひばりヶ丘駅北口西側地区については、地元からの意見でもある「道路が狭い」「オープンスペース等が不足している」などの地区が抱える防災上の課題を解決するため、市で生産緑地を購入し、都市計画公園として整備することで、地区内の住環境、防災性の向上を図る。	市		公園整備			令和8年度
ひばりヶ丘駅北口の市街地誘導	西東京3・4・21号線の整備を契機とした敷地の統合、建物の共同建替え、土地の高度利用などによる街区再編を進め、商業施設を中心としたにぎわいの維持・創出、安全で快適な歩行者環境への改善、駅及び駅周辺施設利用者の利便性の向上を図ることにより、地区全体の防災性の向上と魅力と活力のある商業拠点の形成を目指す。	民間			市街地誘導		継続実施

保谷

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
北東部地域協力ネットワーク運営	保谷駅周辺エリアでは北東部地域協力ネットワークが令和5年2月設立した。「ネイバーフッドデザインのまちづくり」講演会・パネルディスカッションを実施したほか、地域イベント等を実施するなど、まちづくりの機運醸成を図っている。	民間		実施	地域イベント等の実施		継続実施
下保谷四丁目特別緑地保全地区(旧高橋家屋敷林)の活用	旧高橋家屋敷林は、保谷駅の近くでありながら、武蔵野の面影を残す。市では、平成24年11月に「特別緑地保全地区」に指定しボランティアと協働でみどりの保全に努めている。令和4年度よりイベントのほか月2回程度の一斉開放を実施するなど、地域資源の活用を検討している。	市			実施		-

田無

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
西東京3・4・24号田無駅南口線(交通広場)の整備	田無駅南口交通広場を整備することにより、駅周辺での交通結節機能及び防災機能の向上、コミュニティバスの乗り入れによる田無駅南口地域から鉄道駅へのアクセス強化、歩車道の分離による歩行者・自転車等の通行の安全確保を図る。	市	用地取得	用地取得・道路築造工事	道路築造工事		令和9年度
駅前情報発信プロジェクト	住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを目指すため、住民や企業・団体等が行政の制約に捉われない主体的な情報発信を行う環境を構築し、民間活力により、駅前情報発信拠点「まちテラス西東京」とLEDビジョンを運用している。また、市に訪れた方の利便性や情報へのアクセス性の向上を目的として公衆無線ネットワークを運用している。	市・民間			実施		継続実施

三鷹台

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
AIデマンド交通の運行について	三鷹台駅周辺は、人口密度が高いにもかかわらず道路状況等からバス交通が不便になっている地域であるため、AIデマンド交通の運行により、交通不便地域の解消を図る。	市			運用		継続実施
三鷹市道第135号線の整備	三鷹台駅前通りを安心して通行できる歩行空間として整備し、人と自転車が共生する安全で快適な道路空間を創出する。	市			調査 検討		継続実施
三鷹台駅周辺のまちづくりを考える会	市の東部地区の玄関口にふさわしい魅力とにぎわいの創出に向けて、多様な団体と連携し、地域と市が一体になって、まちづくりを推進する。	市・民間			随時開催		継続実施

府中基地跡地

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業	府中基地跡地留保地を取り巻く様々な状況の変化を鑑み、令和7年5月に「府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画」を改定した。改定後の利用計画では、留保地の一部をオオタカを始めとした希少な猛きん類等の生息環境を保全する「保全区域」とするとともに、「道路」、「公園」を整備し、公園内に総合体育館を整備する計画としている。この計画に基づき、市全体の魅力の向上等に寄与する土地利用を図る。	市	利用計画作成 測量設計 伐採工事等		解体工事等		令和15年度
総合体育館移転関連事業	第2次府中市スポーツ推進計画では、市民が「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備、災害時に必要な機能等、新たな市民ニーズに応じ、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を行う。	未定	整備方針等の策定	基本計画の策定	事業手法の検討結果に基づき、事業者選定等		令和15年度

つつじヶ丘・柴崎周辺

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
調布3・4・9号線の整備	松原通り～金子地域福祉センター間について、円滑な道路ネットワークの構築、関連する都市基盤整備事業との連携、災害に強い都市基盤の整備を図る。	市		用地取得		無電柱化工事	令和11年度

調布3・4・21号線の整備	幹線道路から鉄道駅に至る交通動線の確保と、沿道住民並びに駅利用者等の安全かつ快適な歩行環境を創出する。	市	工事				令和7年度
調布3・4・8号線、調布3・4・11号線の整備	柴崎駅南北の都市計画道路は、調布市道路網計画において優先整備路線に位置付けており、事業化に向けて取組を進めている。幹線道路から鉄道駅に至る交通動線の確保と、沿道住民ならびに駅利用者等の安全かつ快適な歩行環境を創出する。	市		事業化準備・用地取得			令和13年度
街づくり協議会・準備会(柴崎・つつじヶ丘)	連続立体交差事業を見据えた交通環境の改善等により、市街地の南北一体化を図るとともに、地元商店街・地域住民との意見交換や情報共有などを行いつつ、より具体的なまちの将来像やまちづくりの方向を明確にする。	市	通年で検討		令和8年度末に策定予定の「(仮称)つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区まちづくり基本計画」に基づき、まちづくり協議会・準備会、地元商店街・地域住民等と連携したまちづくりを実施		令和8年度末(予定)
東部地区における交通環境の改善	つつじヶ丘駅、柴崎駅周辺における開かずの踏切の解消に向け、連続立体交差事業を推進し、駅周辺における利便性の向上や、歩行者及び自転車の安全性の確保など、交通環境の改善に取り組む。	市	通年で検討		通年で実施		継続実施

飛田給

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
飛田給駅前おもてなしガーデン	ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会のおもてなしの一環として、東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザに近い飛田給駅、西調布駅、調布駅周辺で市民等と協働で、花壇やコンテナ等に花を植え付け、装飾する。大規模大会終了後も花の植え替えは継続する。	市		通年で実施			継続実施
重点整備地区におけるバリアフリー整備	飛田給地区は重点整備地区として位置付けられている。飛田給駅や東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ等を生活関連施設に位置づけている。	市		毎年、進捗状況を確認			令和12年度

京王多摩川

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
総合福祉センターの移転	現在、調布駅前に立地している総合福祉センターについては、京王多摩川駅周辺地区で令和9年12月頃に竣工予定の建物に移転を予定している。移転先の建物は、令和9年12月に竣工予定。新たな総合福祉センターは地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点を基本コンセプトとして掲げている。	市	設計・整備工事		整備工事	運営・維持管理	令和9年12月に建物竣工予定
重点整備地区におけるバリアフリー整備	令和4年4月に策定した調布市バリアフリー基本構想において、新たに重点整備地区に設定しており、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する。京王多摩川駅や京王閣競輪場、京王多摩川さくら広場等を生活関連施設に位置づけている。	市		毎年、進捗状況を確認			令和12年度
調布花火の開催	例年多摩川において調布花火を開催しており、京王多摩川会場が観覧席会場の一つとなっている。例年多くの来場者が訪れる。	市	実施環境により実施の可否決定		毎年度実施環境を踏まえ、開催可否を検討する。		毎年度実施環境を踏まえ、開催可否を検討する。
彫刻のある街づくり事業	美しく調和のとれた街づくりをめざし、彫刻のある街づくりの一環として、平成3年度から5年度にかけ、多摩川桜堤通り9体の彫刻作品を設置した。また、調布町と神代村が誕生してから100周年目の記念として、平成元年にモニュメントが設置された。	市	通年設置		継続実施		継続実施

西調布

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
調布3・4・31号線の整備	調布市道路網計画において、西調布駅から品川通りまでを優先整備路線に位置付けており、事業化に向けて取組を進めている。幹線道路から鉄道駅に至る交通動線の確保と、沿道住民ならびに駅利用者等の安全かつ快適な歩行環境を創出する。	市	事業化準備・用地取得		用地取得		令和14年度(予定)
西調布駅前おもてなしガーデン	ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会のおもてなしの一環として、東京スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザに近い飛田給駅、西調布駅、調布駅周辺で市民等と協働で、花壇やコンテナ等に花を植え付け装飾する。大規模大会終了後も花の植え替えは継続する。	市		通年で実施			継続実施
西調布駅周辺整備街づくり協議会	地元住民や商店会等とともに、駅南側の都市計画道路沿道を中心とした地区整備計画を検討している。	市	通年で検討		通年で実施		継続実施

小平

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
花いっぱいプロジェクト	緑化意識の向上及びまちの景観向上を推進するため、「こいだら 花いっぱいプロジェクト」を実施する。活動団体、ボランティア等が連携し、市内の緑化を推進する。	市		開催			継続実施
小平駅北口地区第一種市街地再開発事業	計画段階：小平駅の北側に隣接する面積約2.1ヘクタールの区域において、組合施行により再開発ビル、駅前広場(小平3・4・19号線)及び地下自転車駐車場等を整備する。市内外からの来訪が見込まれ、「小平駅」が拠点としてふさわしいまちとなるよう活性化を図る。令和11年度に都市計画決定、令和12年度に組合設立認可、令和14年度に工事着工、令和18年度の完成を目指す。	民間	社会経済状況の観測・合意形成		合意形成・都市計画協議		令和19年度に再開発事業の完了
小平3・4・19号小平駅久留米線の整備	整備区間：東京街道～東久留米境(453m) 幅員：16m 事業期間：平成31年4月22日～令和9年3月31日(変更予定)	市		用地取得・設計・工事等			未定(事業認可期間変更予定)
小平市大学連携協議会(こいだらブルーリーグ)	学生の活動の充実・地域の活性化・行政と大学の連携などを目的に、嘉悦大学、職業能力開発総合大学校、白梅学園大学・白梅学園短期大学、津田塾大学、一橋大学、文化学園大学、武蔵野美術大学の大学等が参加・情報交換等を実施している。	民間		開催			継続実施

小川

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
小川駅西口複合施設等	小川駅西口地区市街地再開発事業に伴い建設される再開発ビル4、5階に整備する新たな公共施設や、再開発ビル敷地の北西部に整備する「小川ハレット広場」について、条例を制定し、開設に必要な準備を進める。	市	工事	完成	運営		令和8年度に小川駅西口複合施設の開設完了
鎌倉公園の整備	農にふれあうエリアの整備プランや、遊具に関する意見収集及び民間事業者を対象にしたサウンディング型市場調査の結果を参考に、「市」の特徴的な農地の保全と農を身近に感じる都市公園」をコンセプトとして整備する。	市	用地取得・事業計画変更認可		用地取得・基本設計・実施設計		継続実施
小川駅西口地区第一種市街地再開発事業	事業中：小川駅の西側に隣接する面積約1.2ヘクタールの区域において、組合施行により再開発ビル、駅前広場(小平都市計画道路3・4・12号線)及び区画道路等を整備する。小平市の西地域の交通結節点として地域の拠点としての役割を担うまちづくりを推進する。令和8年度の再開発ビルの完成を目指す。	民間	工事	再開発ビル完成	駅前広場、区画道路3号工事		令和11年度に再開発事業の完了

小平3・4・10号小平大和線の整備	整備区間:富士見通り～市道第A-61号線(533m) 幅員:16～33.5m 事業期間:令和3年8月16日～令和13年3月31日	市	用地取得・設計・工事等	令和12年度(事業認可期間)
小川駅自由通路の整備	小川駅の建替えに伴い、「小平市都市計画マスタープラン」に位置付けている東西自由通路の整備を進める。	市	調査・測量・基本設計 都市計画資料作成 実施設計	令和10年度以降着工予定 未定

和泉多摩川

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
多摩川をいかしたまちづくり (狛江市かわまちづくり計画)	狛江市では令和4年に「多摩川周辺エリア未来デザインノート」を公表し、多摩川周辺の空間をリノベーションしていく上でのコンセプト等を示した。 多摩川を中心とした「かわ」と「まち」が有する様々な資源や魅力をいかし、市外から集う新たな人の流れとにぎわいを創出しながらも、市民と来訪者の双方に親しまれる「かわまちづくり」を国・市・市民等の参加と協働によって実現するため、市では令和5年度に「狛江市かわまちづくり計画」を策定し、令和6年度に国に登録された。国の支援を受け、計画期間を10年間としてかわまちづくりを進めていく。	国	計画登録	ハード施策(設計・整備)			継続実施
		市・市民など	ソフト施策(企画・実施)	社会実験の結果を踏まえた関係団体との調整	都市・地域再生等利用区域の指定(河川のオープン化)		継続実施
和泉多摩川駅周辺におけるまちづくり	まちづくり条例に基づき、当地区で活動する地区まちづくり協議会(狛江・和泉多摩川リバーサイド賑わいのある街づくり推進会)を支援し、市民協働によるまちづくりを推進する。狛江市では令和4年に都市計画マスタープラン・立地適正化計画を策定した。当地区の方針として示した、駅周辺の土地利用にふさわしい利用頻度の高い各種施設の立地・誘導や、地区まちづくり協議会と連携した水害対策のための高層建築の検討、駅周辺のにぎわいのあるまちづくりや細街路の解消等を進めていく。	市・市民	継続的に検討		継続的に支援		継続実施
次世代モビリティの導入検討	高齢化等による地域の公共交通の課題解消や、多摩川周辺エリアのにぎわい創出に向けて、次世代モビリティ(移動ツール)導入の可能性の検討を進めるため、庁内プロジェクトチームを組成した。令和5年11月13日～22日には、多摩川周辺エリアにおいて、グリーンズローモビリティの実証運行を実施した。	市	自動運転バス実証運行	取組みの検討	継続的な取組みの検討		継続実施
創業支援	「狛江市と(株)小田急SC デベロップメントとで包括連携協定を締結し、令和2年に「飲食店の開業を支援するための場所」として「FORT MARKET 和泉多摩川」を実現した。また、「FORT MARKET 和泉多摩川」に加え、「FORT MARKET LOGE」や「催事スペース」も含めた覚書を令和4年に締結し創業支援施策の拡充を行った。	市・民間		継続的に支援			継続実施

北野

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
シェアサイクル事業	回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等を目的として、民間事業者との共同によるシェアサイクルの事業を実施する。	民間		本格実施			継続実施
		市	ビッグデータの活用検討	ビッグデータの施策展開活用			継続実施
北野下水処理場・清掃工場跡地活用	下水処理場・清掃工場などの公共施設の再編を契機に、し尿処理の広域化とともに創出用地を活用し、官民連携による新たなまちづくりを進める。	市		既存施設の整理・事業手法の検討			継続実施

圏央道八王子西インターチェンジ周辺

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
圏央道八王子西インターチェンジ地区の企業立地の促進	製造業、物流系産業の企業立地促進地域を指定し、企業を誘致することで市の活性化を図る。	民間		立地企業が一部決定・企業誘致	一部立地企業による建築工事・企業誘致		継続実施
		市		改正条例による企業立地支援制度の運用	改正した企業立地支援制度による企業誘致及び支援		令和10年度
環境配慮型物流拠点の形成促進	八王子市低炭素都市づくり計画にて、多様なエネルギーの利用による災害時にも機能する環境配慮型の物流拠点を形成する。この取組については官民連携により実現を目指す。	民間	関係者との調整	工事実施	エネルギーマネジメントシステムの構築		継続実施
圏央道八王子西インターチェンジ周辺のまちづくり	圏央道八王子西インターチェンジ周辺のまちづくりの核となる拠点形成に向けて、川口地区では、地域経済の振興や首都圏物流の効率化等を目的とし、自然環境に十分に配慮しながら圏央道の整備効果をいかした広域物流拠点の基盤を整備している。また、八王子3・3・74号線(仮称)戸沢トンネルや八王子西インターチェンジ美山地区の整備などの周辺基盤の強化を進めていく。	民間(川口地区)	組合事業支援	工事完了			令和8年度
		民間(美山地区)		事業計画検討	組合設立準備		継続実施
		都(戸沢トンネル等)		用地取得・設計・工事等			

西国立

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
JR南武線連続立体交差化	道路と鉄道の立体交差化により、踏切を撤却し、交通渋滞や地域分断を解消することにより沿線地域の活性化を図る。	都・JR・国立市・立川市			事業推進		未定
西国立駅交通広場(立川7・4・5号線)の整備	西国立駅西側に誰もが利用しやすい交通広場及びアクセスする道路の整備を行い、安心安全な道路交通環境の形成を図る。	市			事業推進		未定
西国立駅周辺地域まちづくり	JR南武線連続立体交差化の進捗にあわせて、まちづくりの具体的な取組を検討し、順次、実現を図る。	市・市民		まちづくりの具体的な取組に向けた検討、取組の実施			未定
西国立駅西地区地区計画の変更	JR南武線連続立体交差化及び西国立駅交通広場(立川7・4・5号)の整備を踏まえた変更を行う。今後、西国立駅周辺の土地利用を見据えた地区整備計画の変更の検討を進める。	市	都市計画変更検討	都市計画変更決定			令和8年度
立川市子育て支援・保健センター(愛称はぐるりん)の整備	既設施設である「健康会館」「子ども未来センター(一部)」「ドリーム学園」の機能を集約した施設の整備を行い、生活の中心地にふさわしい機能集積を図る。	市	しゅん工・引越し		運用		未定

多摩境

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
スポーツ施設の有効活用の検討(小山上沼公園)	「スポーツ環境の充実」を目標に掲げ、市民が身近な場所でスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設を整備し、グラウンドの有効利用を官民共同で検討していく。	市		有効活用の検討			—
小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会(ONW協議会)	小山・小山ヶ丘地区の特性と資源をいかして、地区の課題を自ら解決し、さらに魅力発信や向上に主体性を持って取り組む団体同士のネットワークとして、ONW協議会が設置され、現在18の団体により構成されている。本協議会のコア組織である小山連合町内会への加入率を高めることで、よりプラットフォームとしての役割が高まる。	市		事業実施			継続実施
小山・小山ヶ丘オープンガーデン	毎年、4月～5月に計6日間にわたって、個人宅や地域の花壇などを公開し、花や緑を通じて人々が触れ合うオープンガーデンを開催している。2015年から開催しており、このイベントを通して美しい街づくりを目指している。地域に住む多くの方々に実際に歩いて、小山・小山ヶ丘地区の良いところを多く発見してもらうため、より地元での定着を図るためのPRが課題である。	市		事業実施			継続実施

相原

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
(仮称)大戸広場の整備	相原資源ごみ処理施設計画において併設される(仮称)大戸広場。テーマは「森を守り、遊べる、学べる、癒されるみんなの広場」。	市				実施設計	R13年度 開園
相原駅東口アクセス道路の整備	町田街道立体交差化事業による拡幅整備にあわせて、町田街道から東口駅前広場へ至るアクセス道路(主要区画道路)を整備するとともに、駅周辺の歩行空間の充実を図る地区内の区画道路を整備し、生活環境に配慮した安全で円滑な交通ネットワークを形成する。令和6年度から工事に着手する。	市		整備工事			令和12年度
相原駅東口駅前広場の整備	相原駅東口への交通アクセスを受け止めるとともに、拠点としてのにぎわいや交流を創出するため駅前広場を整備。	市			詳細設計	整備工事	令和11年度
バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化の推進	相原駅周辺を重点整備地区に定めた「相原駅周辺地区バリアフリー基本構想」に基づき、各施設の設置管理者におけるバリアフリー化の取組を推進する。	市		基本構想に基づくバリアフリー化の取組実施			継続実施

久米川

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
久米川駅南口駅前広場整備の検討	市民から提出された南口駅前広場再整備の将来像実現を目指し、令和6年度末に久米川駅南口駅前広場再整備基本計画を策定し、令和7年度からは基本計画の具体化に向けて、基本設計及び周辺エリアのまちのデザイン方針を検討する。	市	設計等周辺エリアのまちのデザイン検討		設計等		継続実施
KUMERAKUの夏	久米川駅まちづくり研究会とは、久米川駅周辺の活性化を目的としている市民団体で、久米川駅を中心とした地域の、良好なまちづくりの実現と推進を図るため、地域に密着したイベントを展開する。KUMERAKUの夏では盆踊りを実施する。	市・民間		毎年1回開催			継続実施
KUMERAKU FRIDAY NIGHT	久米川駅まちづくり研究会とは、久米川駅周辺の活性化を目的としている市民団体で、久米川駅を中心とした地域の、良好なまちづくりの実現と推進を図るため、地域に密着したイベントを展開する。KUMERAKU FRIDAY NIGHTではJAZZ演奏イベントを実施する。	市・民間		毎年2～3回開催			継続実施
マルシェ久米川	東村山で採れた新鮮で美味しい農産物を購入したいという市民の声と、それを市民に届けたいという農家の思いを結ぶ場として、毎月第3日曜日に久米川駅北口広場に開催している。新たな食材との出会いや、生産者の商品への思いが聞ける場にもなっている。	市・民間		毎年1回開催		毎年1回開催(※現在は東村山中央公園で開催するなど活動を継続している)	継続実施
起業・創業支援	支援機関と連携した個別相談や創業セミナー及び創業塾の開催など、年間を通じた支援体制を構築し、起業・創業しやすい環境を整備する。	市	創業塾の開催(年3回)など、年間を通じた支援を実施		年3回、創業塾の開催		継続実施
東村山編集室	住民が作り手となる市公営のnote内マガジン「東村山編集室」で記事を公開することで、東村山市の暮らしをよりよくしていくため、また、まちの魅力を伝えていく。	民間	市より認定を受けた市民ライターが独自に取材し、随時、記事を発信		継続して記事を発信		継続実施
東村山シティプロモーションプラットフォーム	まちで活動する様々な団体等を有機的に連携させるプラットフォームを設立し、各々の情報や得意分野を共有し、シティプロモーションを促進するための人的ネットワークとすることを旨とする。	市・民間	市民や企業の方を対象に、毎回テーマを決めて、意見交換会・勉強会を実施		継続して意見交換会・勉強会を実施		継続実施

東大和市駅周辺

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
東大和市駅周辺の拠点形成調査検討	東大和市駅周辺におけるにぎわい・交流・活力のある魅力的な拠点形成に向け、基礎調査や市民意向調査などを踏まえた検討課題や取組手法の整理などの調査検討を行った。(令和6年度7年度)まちづくり構想の策定やよりまちづくりを具体化するため、都市計画事業の手法、区域の選定や取組内容の検討を進める。(令和8年度)	市	調査・検討	まちづくり構想の策定	検討		継続実施
創業支援事業	地域経済活性化に向けた取組として、(独)中小機構の中小企業大学校東京校(BusiNest)と連携して「東大和市創業塾」を開講し、創業希望者に対し経営、財務、販路開拓等に関する講義を行っている。また、東大和市創業チャレンジ施設の運営事業者に対する施設借り上げ料等の補助も実施している。	市		事業中			創業目標7件以上/各年度
立川3・4・17号線整備事業	交通処理機能の確保や避難場所へのアクセス向上等のために必要な都市計画道路である立川3・4・17号線について、現在事業化している区間の整備を進めていく。	市		事業中			令和17年度
空堀川上流域南部地域浸水対策事業	浸水被害が頻発する空堀川上流域南部地域における浸水対策として、市単独による雨水排除が困難であるため、都が新たに複数市に跨る空堀川上流雨水幹線の整備を、市が幹線に接続する雨水管の整備を進めていく。	都・市		事業中			令和8年度

羽村

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
羽村駅西口土地区画整理事業による都市基盤整備	「美しく快適で住みよい活力に満ちたまち」を基本目標に、JR青梅線羽村駅を中心とした利便性の高い駅前市街地の再編を図るとともに、商業機能の集積を行う。また、道路、交通広場、公園等の都市基盤整備により良好な居住環境を確保する。	市			事業実施		令和18年度
羽村駅西口周辺の活性化	羽村駅西口を中心とした商業の活性化に向けて地域の事業者などと連携し検討する。	市	調査検討・情報収集		活性化検討		令和18年度
駅前広場(羽村駅)の整備	羽村駅西口駅前広場について、関係機関協議や市民などと連携し交通結節点としての整備を検討する。	市・民間			状況把握 対応検討		令和18年度
緑地・崖線の保全活動	都市施設と自然が調和した市街地の再編を目的に崖線・緑地を市民団体と連携して復元し保全・保存を図っていく。	市・市民団体			活動実施		継続実施

武蔵引田

事業名	具体的な取組(多摩のまちづくり戦略から抜粋)	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
秋多都市計画事業 武蔵引田駅北口土地区画整理事業	産業の活性化と良好な居住環境の創出を図るため、業務地、商業地、住宅地、農地がバランスよく配置された産業系複合市街地の整備を目指して、市施行による土地区画整理事業を実施し、駅前広場、道路や公園など公共施設の整備改善を行う。令和7年度末に事業の完了を予定している。	市		事業実施			令和9年度
秋多3・4・13号線の整備	武蔵引田駅の東側に位置する都市計画道路で、一般国道165号伊奈福生線及びJR五日市線と交差し、新五日市街道線まで至る南北方向の幹線道路として道路ネットワークを形成する。東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)における優先整備路線である。道路整備へ向け、令和5年度に測量調査委託を実施し、令和6年度から概略設計委託を実施している。令和7年度以降は概略設計を基に事業化へ向けての検討を継続する。	市		整備方向性検討			令和8年度
公民学連携及びDX活用の検討	土地区画整理事業により新たに市街地が整備されつつある当該地区及びその周辺において、地区内で操業している企業等との連携やDXの活用を検討する。	市・民間		連携及び活用検討			令和8年度

箱根ヶ崎

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
瑞穂町コミュニティバスの運行	町内における地域間の移動や、町内各地域から町外への玄関口であるJR箱根ヶ崎駅を結ぶ公共交通が充実し、住民誰もが円滑に移動することができることを目指し、今後のコミュニティバスを含め公共交通のあり方について検討する。	町			実証実験、町内の公共交通の実態を踏まえ、本格運行を実施		継続実施
地域公共交通計画の策定	地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにし、町内における地域間の移動や箱根ヶ崎駅(仮称)No.7駅と町内各地域との移動についてあるべき姿を検討する。	町	計画策定		計画に基づき実施		継続実施
立地適正化計画の策定	効率的かつ持続可能な都市経営を目指し、多摩都市モルールの箱根ヶ崎方面延伸や新駅周辺のまちづくり等も含めて検討を進める。	町			計画に基づき実施		継続実施
箱根ヶ崎駅西公有地活用プロジェクト	箱根ヶ崎駅西地区の公有地を活用し、にぎわい創出を行うため、暫定的インフラ整備やイベントを実施し、多摩都市モルールの開業に合わせ、地域交流の活性化される居場所を創出する。	町 (住民との協働事業)			公有地の恒久的な活用を行うまで、プロジェクトは継続		令和13年度
福生都市計画事業瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業	町の中心市街地を形成する地区であるものの、都市基盤が未整備のまま市街化が進み、交通、排水等居住環境が悪化していた。このため、道路、公園等の整備を行うとともに宅地の利用増進を図り駅周辺の活性化と健全な市街地形成を図る。	町			換地処分に向けた事務		令和13年度
JR箱根ヶ崎駅と(仮称)No.7駅乗換連絡通路の整備	JR箱根ヶ崎駅自由通路と、(仮称)No.7駅コンコースをデッキで連絡し、利用者の安全かつ円滑な乗換を支援するとともに、駅西側にも人の流れを誘導することで、箱根ヶ崎駅周辺の回遊性向上やにぎわいの創出を図る。	町		関係機関協議	関係機関協議、(仮称)No.7駅乗換連絡通路整備基本計画の策定		2030年代半ば
福生3・5・17号線(箱根ヶ崎陸橋)	青梅街道踏切の渋滞解消、歩行者の安全確保を目的として、道路とJR八高線をオーバーパスで立体化する事業を東京都にて実施する。	都			事業実施		継続実施
瑞穂町デマンド交通の実証実験運行	コミュニティバスではカバーできない交通不便地域解消の補完及び高齢者等の免許返納や外出促進に寄与する公共交通手段としての有用性を検証するため、実証実験を行った上で、今後のデマンド交通を含め町内における公共交通のあり方について検討する。	町	実証実験	実証実験、町内の公共交通の実態を踏まえた本格運行の開始を検討	実証実験、町内の公共交通の実態を踏まえた本格運行の開始		継続実施
自動運転バスの実証実験運行	運転士等の担い手不足への対応等、持続可能かつ利便性の高い公共交通網を形成し、モルールの延伸部における新たなまちづくりの効果を高めるため、事業を推進していく	町			実証実験(R8.2)、町内の公共交通の実態を踏まえた自動運転の定常運行(R8.3~)		継続実施

谷戸地区・塩田地区

事業名	拠点づくりの具体的な取組	事業者	今後の取組スケジュール				目標年次
			令和7年度実績見込み	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
桜まつりの開催	日の出町観光協会が開催しており、イベントを盛り上げる桜まつりサポーターなどのボランティアスタッフを募集するなど、観光やイベントを通じた関係人口の増加を図っていく。	観光協会			毎年度開催		継続実施
農地を活用した拠点づくり	農家の協力を得ながら、既存農地を使用した様々な体験を実施していくことで、農地の保全に向けた農業従事者の確保に取り組む。	町			毎年度開催		継続実施
総合文化体育センターの建設	三多摩都民と多くの町民が交流できる拠点施設の設置を推進し、交流を活性化させ、まちの活力を増進させる。	町			調整		継続調整